おんがく広場 第92号
Facebook,Twitterにも掲載／リンクフリー／御自由にコピーして下さい　令和2年(2020)4月10日創刊
令和2年(2020) 9月23日(水)
発行・クッキー会　発行責任者・加藤良一
連絡先　rkato@max.hi-ho.ne.jp

模型で演出を練る

今年5月23日に上演予定だった＜**歌劇幕臣・渋沢平九郎**＞(実行委員長：**野口享治**さん)はコロナ禍の影響で2021年2月6日に延期となりました。企画を進めてきた渋沢平九郎プロジェクトでは、会場と検討を重ねていますが、当初のプラン通りにはいかないこともわかってきました。

先日、ZOOMで打合せ会を開きました。作曲家の**西下航平**さんとオーケストラ・ぴとれ座指揮者の**池田開渡**さんにも加わってもらい、全体的な課題について討議しました。

最大の問題は、オーケストラの配置を感染防止策を施しながらどう変えてゆくか、大いに悩ましいところです。三密防止策をとるとオーケストラがピットに入りきれないことです。

苦肉の策としてステージ上に上げる方法がないわけではありません。いわゆるコンサート形式の歌劇のような感じでしょうか。しかし当然背景の書き割り(※)との関係はどうなるか、指揮者の位置はどこが良いのか、などなど通常の歌劇では考えられない問題が発生しています。

※　書き割りは、書割とも表記され、舞台セットにおいて、風景や建物などが描かれた張り物(木材を骨にして紙・布などを張ったもの)のこと。書いたものが何枚かに分かれていることに由来します。

合唱練習は9月末より再開しますが、練習会場の人数制限もあり、果たしてどこまで仕上げられるか先行きの不安も拭えません。いずれにせよ、目標に向かって着々と進めるしかありません。

合唱の指揮と演出を担当する**磯野隆一**さんは、1/50スケールの模型を自作して演出案を練っています。

背景・小物、登場人物も色とりどりの衣装を着せてステージへ乗せ、ライトを吊って照明の当たり具合も見ています。公式サイトはこちら↓をご覧ください。

https://www.unist.co.jp/heikuro/